



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

2025年度後期 市民公開授業 受講生募集

講義テーマ

「総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う」

国際医療福祉大学では、大学の一部の授業を「市民公開授業」として地域の方々に公開しています。

募集要項

開講科目

総合講義
－超高齢社会で認知症と向き合う

科目概要

わが国の認知症と軽度認知障害（MCI）の有病率は、2022年度の推計で高齢者の約12%が認知症、約16%がMCIであり、高齢者の約3人に1人が認知機能に関わる症状を有する状況である。2040年には認知症高齢者が約584万人、MCI高齢者が約613万人に達すると見込まれる。今や認知症は、誰もが関わる可能性のある身近な病気である。

認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができ、誰もが真に長生きを喜べる「長寿社会」の在るべき姿について、学び考える。

開講期間

9月24日(水)～11月12日(水)
毎週水曜日18時00分～19時30分（全8回）

募集定員

50 名まで

受講料

3,000円（8回講義）
※支払い方法は、申込後にご案内いたします

募集期間

7月22日(火)～8月20日(水)

申込方法

①オンラインからお申込の場合
右記QRコードからお申込ください。



②本紙に添付の申込用紙を使用される場合、大学教務課窓口へ持参していただくか、郵送もしくは FAXでお申込ください。
※申込用紙は大学教務課窓口にあるほか、大学HP <https://otawara.iuhw.ac.jp> からも取得できます。

担当教員：各回の講師が変わるオムニバス形式

※講義回、講義内容は予定であり、変更となる可能性があります。

- 9/24 「地域における認知症支援・ケアの実際
－大学オレンジカフェの活動－」
(作業療法士 関 優樹)
- 10/1 「認知症の方に寄り添うコミュニケーション」
(言語聴覚士 佐藤 妙子)
- 10/8 「加齢に伴う視機能の変化と眼疾病」
(眼科医 原 直人)
- 10/15 「認知症の人とその家族に対するケア」
(社会福祉士 須藤 昌寛)
- 10/22 「脳活き活き！認知症予防アクティビティの実践」
(看護師 松本 明美)
- 10/29 「認知症に用いる薬の種類と役割」
(薬剤師 辻 稔)
- 11/5 「認知症（予防）と運動
－なぜ、運動が脳にいいのか？」
(理学療法士 屋嘉比 章紘)
- 11/12 「福祉大国・デンマークにおける
認知症への取り組み」
(認知症コーディネーター 錢本 隆行)